

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0903025

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成22年度～平成36年度 ○総事業費 2,296千円 ○事業内容 融資金融機関への利子補給 道事業費 2,296千円 道信連事業費 6,888千円 個人負担 14,522千円
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	漁業経営健全化促進資金利子補給事業		見直し年度			
事業期間	平成22年度～平成24年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	融資実行件数		関係課	#N/A		
事業目標	17件		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名	⇒		
住民協働			関係個別計画名			

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	燃油高騰等による経営環境の悪化した漁業者への緊急支援として、低利な借換資金を融資する金融機関に対する利子補給を行い、漁業の経営健全化を図る。 利子補給額 道 827千円 町 827千円 信漁連 2,481千円 自己負担 5,240千円 計 9,375千円			融資金融機関への利子補給 (貸付額 121,990千円) 利率 道・町 0.26% 道漁連 0.78% 自己 1.65% (基準金利 2.95) 事業費 258千円	融資金融機関への利子補給 (貸付額 121,990千円) 利率 道・町 0.26% 道漁連 0.78% 自己 1.65% (基準金利 2.95) 事業費 295千円	融資金融機関への利子補給 (貸付額 121,990千円) 利率 道・町 0.26% 道漁連 0.78% 自己 1.65% (基準金利 2.95) 事業費 274千円	
	事業費(千円)	827	0	0	258	295	274
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	827			258	295	274	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	801	0	0	256	287	258
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	801			256	287	258	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値			融資実行件数 17件	融資実行件数 17件	融資実行件数 17件	
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	99%	97%	94%	
	全体達成率	0%	0%	31%	66%	97%	
	事業進捗状況			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	漁業経営健全化促進資金利子補給事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	融資実行件数								
【抱える課題やニーズは】	燃油高騰等により漁業経営が悪化している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	資金借換を融通する金融機関に利子補給を行い、漁業者の資金繰りを円滑にする。	① 融資実行件数(平成22年度)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>17件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	17件	実績値	17件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	17件										
実績値	17件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	漁業者の経営の健全化	② 資金借入者数(年度当初資金借入者数-期中繰上償還者数)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>16件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>15件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>93.8%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	16件	実績値	15件	達成度	93.8%
目標年度	平成24年度										
目標値	16件										
実績値	15件										
達成度	93.8%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	利子補給金の支出	借換資金の融通を行った金融機関に対し利子補給金を支出した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本事業については、国の漁業緊急保証対策事業を活用し、北海道、漁業団体(信漁連)も利子補給を行っており、漁業経営の早期健全化を促進するため、町も支援する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	道から漁業経営健全化計画の認定を受けた17漁業者が資金借換を行い経営の健全化を進めているが、既に2漁業者が繰上げ償還するなど早期健全化が図られている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町の要綱に基づき北海道の利子補給率と同率の補給を行っている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

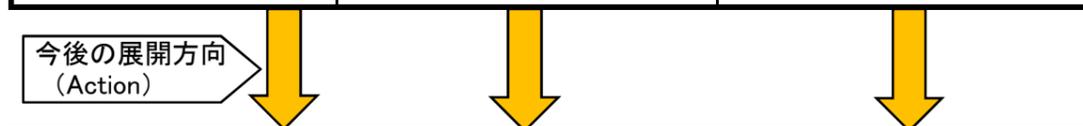
公平	判断の理由	燃油高騰等により漁業経営が悪化している漁業者に対する緊急的な支援措置であり、公平性が保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
燃油高騰等による緊急対策事業であり、低利借換資金による債務負担軽減を図ることは有益である。		



継続/現状維持		
平成22年度に実施した緊急対策事業のため、新たに借入を行う漁業者はいないが、返済完了まで引き続き利子補給を行う必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止